

今週（3月10日から3月14日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが強い状況に変わりはなく、相場に大きな変化は見られなかった。無担保コールO/N物の加重平均レートは、10日が0.478%、11～12日が0.479%、13日が0.476%と、試し取りの有無により若干の振れ幅をもって推移した。また14日（金）も概ね横ばい圏での出会いが中心となった。ターム物に関しては、1W～4Mまでの幅広い期間で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により518～520兆円程度で推移した。

●レポ市場

今週のGC O/N物は0.455～0.505%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～470回、5Y165～177回、10Y355～377回、20Y180～191回、30Y65～85回、40Y10～17回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は閑散な中、全ゾーンが横ばい圏で推移した。

14日に行われた3M物入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼・不動産・建設などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、期末に向けた事業法人による有利子負債圧縮の影響から、11日以降25兆円を下回っており、13日時点では24兆円台後半で推移している。

発行レートは、政策金利の引き上げ以降、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきはあるものの0.5%以上で推移している。タームについては、特に期間の短い調達を先行する動きが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/10（月）	37,028.27	1.574	147.31	0.478	0.485	5,202,900
3/11（火）	36,793.11	1.505	146.63	0.479	0.478	5,181,100
3/12（水）	36,819.09	1.520	148.05	0.479	0.477	5,183,300
3/13（木）	36,790.03	1.545	148.23	0.476	0.478	5,178,000
3/14（金）	37,053.10	1.515	148.28	0.477	0.492	5,187,200

来週（3月17日から3月21日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/17 (月)					2月の米小売売上高 1月の米企業在庫
3/18 (火)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～) 1月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	1Y 3/21発行 32,000億円			米FOMC(1日目) 2月の米住宅着工件数 2月の米鉱工業生産・設備稼働率
3/19 (水)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 2月の貿易統計(財務省 8:50) 1月の機械受注統計(内閣府 8:50) 1月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)				米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値
3/20 (木)	春分の日				英中銀MPC 2月の米中古住宅販売件数
3/21 (金)	2月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 10-12月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)	TB3M 3/24発行 45,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オベ合計	実質過不足	需給要因
3/17 (月) 日銀予想	100	▲ 4,900	▲ 4,800	貸出増加 国債補完	▲ 60,000 2,700	18,700	▲ 38,600	▲ 43,400	TB3M発行▲45,000償還43,000 個人向け発行▲4,200償還551 流動性供給▲5,000
3/18 (火) 弊社予想	500	5,000	5,500				0	5,500	
3/19 (水) 弊社予想	▲ 500	2,900	2,400				0	2,400	
3/20 (木) 弊社予想			0				0	0	
3/21 (金) 弊社予想	▲ 500	68,000	67,500				0	67,500	国債利払い・大量償還 TB1Y発行▲32,000償還35,000 5Y償還13,000、10Y償還8,600 20Y償還16,200 エネルギー対策借入▲7,400期日6,900
週間合計	▲ 400	71,000	70,600	—	▲ 57,300	18,700	▲ 38,600	32,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢の資金ポジションに大きな変化がない限り、引続き0.477%近辺で推移することが見込まれる。債券レポGC T/N物は、金融政策決定会合があるものの、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45%～0.505%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、18日(火)に1Y物、21日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、19日に金融政策決定会合があり、利上げ警戒感は薄いものの、ロングターム物のレート動向が注目される。

主要なイベントは、国内では18日(火)・19日(水)に金融政策決定会合、19日(水)に2月貿易統計、1月機械受注統計、21日(金)に2月全国消費者物価指数、海外では18日(火)・19日(水)に米FOMC、18日(火)に2月米住宅着工件数、19日(水)に2月ユーロ圏消費者物価指数改定値、20日(木)に2月米中古住宅販売件数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。